



JICA九州ネット

jgn

第9号

In Memory of KIC

Kyushu International Center

マリーン・ドルフィン2009

バブアニューギニアの宝物



IN MEMORY OF KIC

Kyushu International Center

福岡県北九州市八幡東区のJICA九州国際センターは二十周年を迎えました。そのJICA九州図書資料室のカウンター左手に「IN MEMORY OF KIC」と書かれた全60巻のファイルがあります。たくさんの国に分類されたこのファイルには、今まで世界中からここを訪れた研修員達書き残したKICと九州の皆様へ向けたメッセージが詰まっています。その内のいくつかを紹介します。>>>つづく



Ms. JUNNAINA Husin Chua

MALAYSIA

マレーシア

5S activities at Vocational
Training Institutes in Malaysia

マレーシア 職業訓練校における5S活動

J0822657

2009.2.15 - 2009.4.14



Please fill in the blank with your joy, sadness, humor or what ever else you felt or thought (in any language or illustration) in memory of staying in Kitakyushu City.

IN MEMORY OF KIC

Kyushu International Center

Seiri/Seiton/Seisou/Seiketsu/Shitsuke 合わせて5S。日本の製造業やサービス業で職場環境の維持改善のために用いられてきた手法です。マレーシアのUnnaina Husin Chuaさんは、この5Sにもとづく研修、「職業訓練校における5S活動」を受講するため来日しました。どうやら北九州の街に好感をもっていたいただいた様子。

>>>つづく



Mr. MOHAMAD NOOR Ismail

5S activities at Vocational
Training Institutes in Malaysia

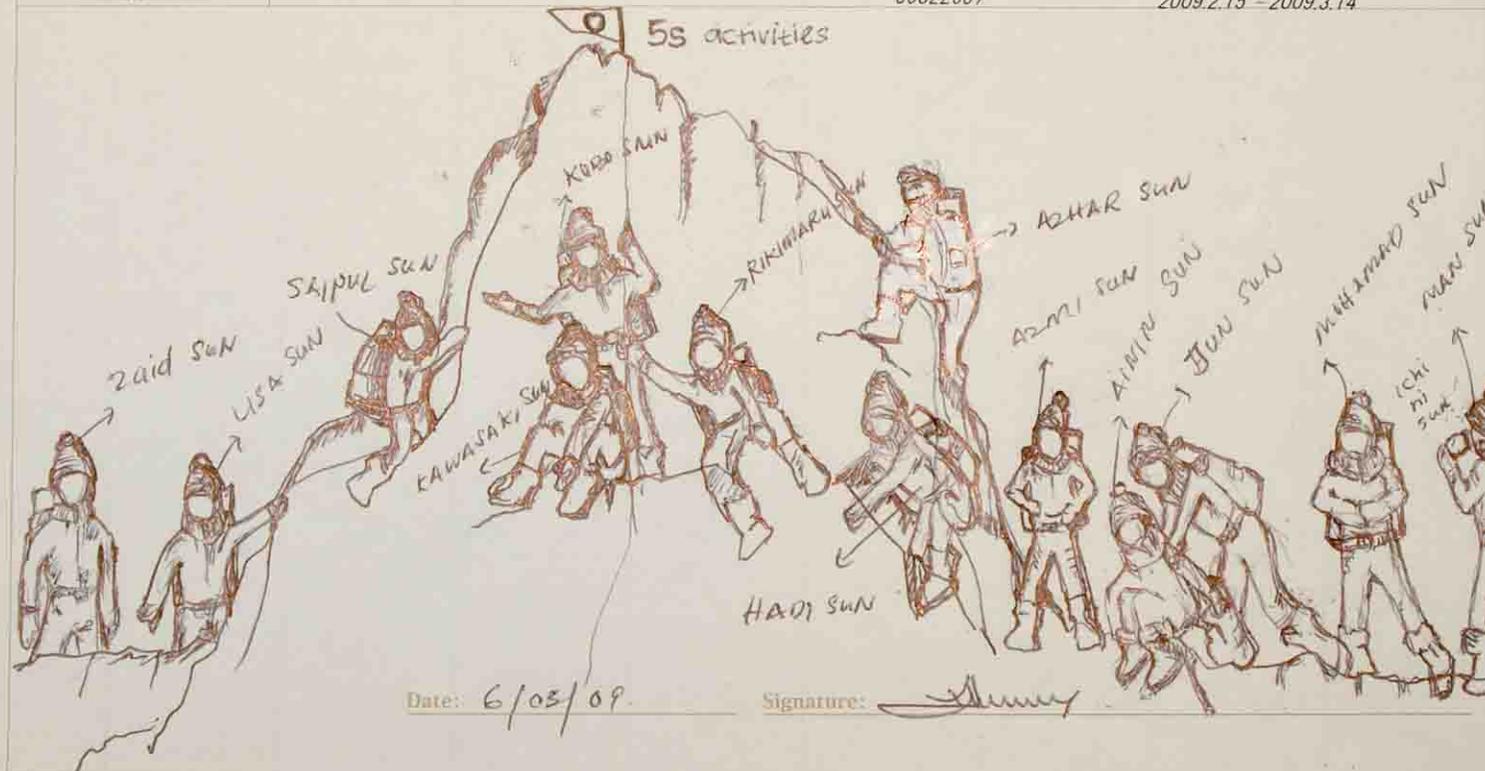
MALAYSIA

マレーシア

マレーシア 職業訓練校における5S活動

J0822657

2009.2.15 - 2009.3.14



Please fill in the blank with your joy, sadness, humor or what ever else you felt or thought (in any language or illustration) in memory of staying in Kitakyushu City.

IN MEMORY OF KIC

Kyushu International Center

こちらにも5S研修のために来日したマレーシアのMohamad Noor Ismailさん。この研修はチームワークよさそうですね。>>>つづく



Mr. PRUSTY Laxmikanta

INDIA

-en-

Plant Maintenance Engineering for
Cleaner Productionクリーナープロダクションのためのプラントメンテ
ナンス技術
J0722096 2008.2.25 - 2008.7.3

1. I remember ^{it} Right,
In that February Night
With your Sleepy Sight
You welcomed me with delight
Is not it ?

2. I find here :
The air and water :
Life and Culture
All clear and Pure .

3. The Land and Sea,
At any angle I see,
I Believe my Sight
Clean, green and bright

4. February, March, April :
Vibrated my Zeal :
with weather So cool.
But teaching material wool,
made myself fool .

P.T.O .

Date 30.06.2008 Signature: Laxmikanta Prusty

Please fill in the blank with your joy, sadness, humor or what ever else you felt or thought (in any language or illustration) in memory of staying in Kitakyushu City.

5. May, June and July
Fly, Fly and Fly
Wandering in scenic Fly
Counting to Say "Bye-bye".

6. The love you gave
The warmth you gave
The Nature and People
So Sweet and Beautiful.

7. Your People in my heart
Your Nature in my heart
My Course is cleaner
Can forget you Never
Never - Never and Never .

8. It is July 3rd
Looking at the bird
"Kerom Bird" the Cards
"Semimasaen - Tell me Hai"
No "Good-bye"
Hai, Hai 2 Hai .


Laxmikanta Prusty

IN MEMORY OF KIC

Kyushu International Center

インドからクリーナープロダクション研修に参加したPrusty Laxmikantaさんのポエム？8番まで続く大作です。

>>>つづく



Ms. MSIBI Thembekile Nobusika

Study on Education Improvement
of Training Course of Teacher for
African Countries

SWAZILAND

スワジランド

教員養成課程における教育改善方法の検討(英
語圏アフリカ)

1999/2008

2006.10.28 - 2009.11.20

MY JOYS ,SADNESS & HUMOUR IN JAPAN : KYUSHU -KAGOSHIMA One of my mottos about life is " in every situation look for the good ,look for the positive, magnify the positives." This is my source of inspiration and driving force . I have so many good and wonderful memories about this country . The sad thoughts are too minor when compared to the good experiences I had . Yes sad & painful memories do hit hard on us - but we choose not to let 'them win ' !!! .What struck me the most was the Japanese value system - hospitality . People in this country are always eager to make you comfortable . Their respect for every human being and love for nature . The way they value education and the way in which they make use of the 'little' they have to the fullest - for the benefit of the whole . Their creativity and innovativeness . I was inspired by the commitment of the Kagoshima University to the programme ; ready to advise and assist us . I was very surprised- it was the 2nd day of our training course - when my advisor Professor Kamitami gave me a document - typed with detailed information about Japanese Elementary education . I realized that this country wants to contribute in uplifting the standard of education in developing countries . Lastly , now I understand why one of my colleagues at work said 'oh how lucky you are . You will experience the beauty of islands ' . The scenery is beautiful in Japan . "To you Sakurajima Volcanic mountain and you big Ferry ship who assisted us in our tour , I say sayonara".

25.11.2009

Ms. Msibi

of staying in Kitakyushu City + Kagoshima

emory

IN MEMORY OF KIC

Kyushu International Center

アフリカ・スワジランドのMsibi Thembekile Nobusikaさん。教育改善の研修で鹿児島大学を訪れました。私達と [Sakurajima]に向けて、彼女のモットーと共にいただいたメッセージです。

マリーンドルフィン2009

重量ベースで貿易の99%を海上交通に依存する日本にとって、海上航路の安全は政策の中でも最重要課題の一つです。しかし、日本の生命線を脅かす問題が起きています。それは、海賊問題です。2008年、ソマリアとイエメンに挟まれたアデン湾沖で、日本の巨大タンカーが海賊の襲撃を受け、被弾しました。2009年上半年期だけでも世界中で240件の海賊被害が発生、「海の安全」を大きく脅かしています。

JICA九州では海上保安庁のご協力のもと「東アジア海上犯罪取締り研修」が実施されました。現在問題が深刻化するソマリア海賊問題に取り組むイエメン、オマーンなどの中東・アフリカ諸国に加え、中国、インドネシア、フィリピン、フィリピンというアジア各国も参加した14名のチームとして研修が始動しました。



山口西部、九州北部沿岸の海の安全を守る第七管区海上保安本部を中心に行われた研修では、鑑識実習、薬物取締、テロ対策の講義などを受講、海上取締行動のシュミレーションを行いました。また、巡視船「らいざん」に乗船、実際の業務航行を体験しました。様々な視察、実習、講義を終えた彼らは、帰国後の活動計画を発表するプレゼンテーションでも活発なディスカッションを行い、最後に彼らが自主的にまとめた決意表明(右)を JICA 九州所長に手渡しました。この表明書は、事前に知らされておらず、嬉しいサプライズとなりました。

研修員たちは各国の海上安全を担う人材です。そして、この研修は、彼らの国境を越えたチームワークを築くことを目的としています。研修員たちの活躍と共に、国際ネットワークにより「海の安全」が、より良い方向へ進むことを期待します。



海上保安庁福岡航空基地で研修を受けるマリンドルフィン2009

マリンドルフィン2009

PLEDGE OF VOLUNTARY COMMITMENT

WHEREAS, we the participants of JICA Maritime Law Enforcement Course for East Asian Countries (Long Term) with Yemen and Oman do resolve to adopt the class name "MARLEN DOLPHIN 2009".

WHEREAS, as a class we have invested our time and effort to represent our respective countries in JICA's efforts to foster cooperation and camaraderie among us as we jointly combat the global menace of piracy;

WHEREAS, we regard piracy and other maritime crimes as a hindrance to national development and international trade;

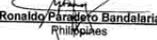
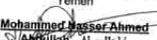
WHEREAS, we believe that international shipping and other maritime activities, being the lifeblood of international commerce, peace and progress, require definitive actions from the community of nations to preserve its security;

WHEREAS, we likewise consider that the problem of piracy and other maritime crimes require cooperation and collaboration among countries;

NOW, THEREFORE, BE IT RESOLVED, that we, the members of MARLEN DOLPHIN 2009, unanimously support the quest for peace and harmony among nations thru concerted efforts of nations in suppressing piracy and other maritime crimes and pledge that we will not cease our efforts to oppose any illegal acts that will hamper the development of nations.

FINALLY, we individually set our hands hereunder as testimony of our commitment to support this noble endeavor.

Signed this 14th day of November 2009 at JICA Kyushu International Center, Kitakyushu, Japan.

 Bao Bao China	 Perita Rojonan Philippines
 Abriadi Indonesia	 Ronaldo Paragoto Bandalarja Philippines
 Noman Trihapto Narnati Indonesia	 Xerxes Proceso Neri Fernandez Philippines
 Azharayah Lubis Indochina	 Abdulmajid Nail Saleh Dhalmian Yemen
 Abdul Johari Malaysia	 Abdullah Ali Belabeth Mehdell Yemen
 Ismail Mohamad Malaysia	 Mohammed Nasser Ahmed Al-Hail Yemen
 Rosli Kassim Mohammad Malaysia	 Asad Mohamed Nasser Al Jabri Oman

- 我々、イエメン、オマーンを含むJICA研修「東アジア地域海上犯罪取締り(長期)」の研修員一同は、このグループを「マリンドルフィン2009」と命名する。
- 我々は、世界的な脅威である海賊行為を共同して殲滅することを目指し、協力関係と友愛を高めるため、JICAの支援を受け、各国を代表して本研修に時間と努力をつぎ込んできた。
- 我々は、海賊行為及び他の海上犯罪を、国の発展と国際貿易を妨害するものとみなす。
- 我々は、国際貿易の血脈である国際海運及びその他の海上での諸活動は、その安全確保のため国際的な共同体による断固とした行動を必要としていると信じる。
- 我々は、同様に海賊行為及び他の海上犯罪問題は、国家間の協力と協働が必要であると考えます。

それ故、ここに以下を決意する。

我々「マリンドルフィン2009」のメンバーは、海賊行為及び他の海上犯罪を鎮圧するための国家間の協調した努力を通じ、国際的な平和と調和の追求を一丸となり支援する。また、我々は、各国の発展を妨げる全ての違法行為に対抗する我々の努力を絶やさないと誓う。最後に、我々は、この高邁な取組を支持する我々の決意の証明として、以下に各自署名する
本日、2009年11月14日、JICA九州国際センター(日本、北九州)において署名。

PNG 宝物

パプアニューギニアの

美しいサンゴ礁の海と豊富な種類の魚の群れ

国土の7割を覆う熱帯雨林の森に棲む極楽鳥やヒクイ鳥、クスクスといった生物と、蘭やハイビスカスなどの花々。

8百を越える種類の部族語と彼らが守り続けている伝統文化。

世界で2番目に大きな島であり、世界で2番目に大きな熱帯雨林に覆われるニューギニア島の半分と周辺の島々からなるパプアニューギニアは、最後の秘境と呼ばれる興味深い国です。大航海時代にも様子がわからずヨーロッパ人も立ち入りたがらなかった神秘的島。そこには、数々の宝物があります。5万年前、東南アジアから筏や木で作った船に乗ってメラネシアへと移住しました。そして9000年前、ニューギニア高地に移り住んだ人たちは排水路を造り、農耕を始めました。そして、1800年代にヨーロッパの国々の植民地となるまで世界の歴史からまったく取り残されてしまいました。しかし、彼らは彼らの伝統文化を受け継ぎ今も守り続けています。

このページのどこかに、青年海外協力隊でパプアニューギニアに2年間滞在し、現在、国際協力推進員として熊本を担当している木下俊和がいます。木下にはシッポがあるという噂もありますが、それだけではありません。海外ボランティアや国際理解教育など様々なご相談に対応する熊本のJICA窓口となる人です。

JICAデスク熊本 木下俊和 (きのした としかず)

E-mail : jicadpd-desk-kumamotoshi@jica.go.jp TEL : 096-359-2130

〒860-0806 熊本県熊本市花畑町4-8 熊本市国際交流会館内



そこに君はいた・・・

門司港 前原 大宰府 大名



そこに君はいた・・・

門司港 前原 大宰府 大名

www.jica.go.jp/kyushu

青年海外協力隊写真展

サンリブくりえいと宗像

世界をつなぐ写真展

世界をつなぐ写真展

2/20 sat. ~ 2/28 sun.

サンリブくりえいと宗像

POST CARD



福岡出身・在住の海外ボランティア参加者の写真展。

レンズの向こうは日常。そこにいた確かな記憶。

そこにいたからこそ見えてきた地球の風景。人々。暮らしを伝えます。

そこに君はいた・・・

- 青年海外協力隊フォトキャラバン
- 門司港会場： 門司港駅 2/23火~2/28日 10:30~18:30
- 前原会場： 古材の森 3/04木~3/09火 11:00~23:00
- 太宰府会場： 九州国立博物館 3/24水~3/28日 09:30~17:00
- 大名会場： エンジョイス・ス大名 4/05月~4/11日 10:00~19:00
- ※ 大名会場4/10土 イベント：世界の料理教室 要申込

- 前原・大名会場： JICAデスク福岡 稲森千佳
- E-mail: jicadpd-desk-fukuokashi@jica.go.jp Tel: 092-733-5638
- 門司港・太宰府会場： JICAデスク北九州 橋口恵利子
- E-mail: jicadpd-desk-kitakyushushi@jica.go.jp Tel: 093-662-0055



あなたと。すぐちかくで、

せかいをつなぐしゃしんでん

■ あなたのすぐそばにある、国際協力。
JICA国際協力隊の海外ボランティアの一つである青年海外協力隊。今回、前原・遠賀からこの協力隊に参加した方々の活動を伝える写真展を開催します。40年を超える歴史の中で全国から3万人以上、福岡県からも約1400人がJICAの海外ボランティアに参加しています。「外国で2年間、社会奉仕活動をしていてと思う」と思ふこと「すごい」と言われることが多く、「何か特別な存在のように思われることがあります。しかし、その参加者は意外と皆さんの身近にいます。この写真展は、地域から参加した人たちの活躍を、皆さんにご紹介することで、もっと身近に国際協力を感じてもらいたいという思いをこめて企画しました。

■ 多芸・多彩 福岡人のボランティアメニュー
青年海外協力隊には約120種類以上の活動があります。宗像の藤元さんは空手家。アフリカ・モザンビークで、警察学校の教官として空手を教えました。武蔵の霜村を伝えるために奮闘した彼女の活動をお伝えます。同じく宗像出身の片野さんは、ソモモの増数科教師職員、教師経験の乏しい彼ですが、中・高校で、現地の言葉と融合した英語「ビリン英語」を駆使して授業進めに取り組みました。福津市の長田さんは、カンボジアの病院で臨床検査技師として活動しながら、現地スタッフの技術や病院のシステムをより良くするためのアドバイスを発行しました。その他、ソコで肥後県産のたけのこを活動したエアロビクスの北川さん、グアテマラの環境保全の啓発と生態調査を行った高橋さん、ルワンダの孤児院で子ども達の健やかな成長を願い、ソーシャルワーカーとして子どもと共に暮らした田中さんなど、6人から届いた写真を展示いたします。隊員達が2年間の活動の中で、それぞれの暮らしで暮らした様子をお伝えする写真展です。

会場： サンリブくりえいと宗像 JR赤間駅徒歩10分
2階中央エスカレーター横
日時： 2月20日(土)から2月28日(日) 11:30から19:00
入場無料 申込不要 観覧自由
週末には青年海外協力隊参加者来場、皆様のご質問にお答えします。

お問合せ：
JICA九州 市民参加協力課 担当：田中
E-mail: jicakicq-jpovac@jica.go.jp Tel: 093-671-8349
北九州市八幡東区平野2-2-1

国際協力機構・九州国際センター www.jica.go.jp/kyushu



「生活排水対策」研修に参加されたコロンビアの研修員からいただいたお土産。ロバ？が背負うのは本物のコーヒー豆。